

我が学びや

令和7年1月9日
白川小 学校便り No.11

文責:校長 村上剛史

学校教育目標: 自他を大切にし、よく聞き、ともに学び続ける白川小の子ども
～児童理解を基盤として、みんなでみんなを育て、一人一人の輝きを引き出す教育の推進～

重点目標: 伝えよう・聞こう・わかろう～心と体の元気づくり～

白川小学校校訓「勇気・協同・礼譲」をみつめて

謹んで新年のお慶びを申し上げます。締めくくりの3学期が始まりました。始業式では、校歌にも歌い込まれ、脈々と受け継がれてきた校訓「勇気・協同・礼譲」をあらためて自分事として捉えてみようとする全校児童に投げ掛けました。

まずは「勇気」。一般的な印象としては、怖いこと、危険なことに立ち向かうことのように思われがちですが、私は、「自分自身と向き合い、これまで親や教師、地域の方々から学びとった正義に則って、その正義を貫いて自己を高め続けよ」と激励するものと捉えています。正しく生きようとするには大変な勇気が必要です。自己を高めていくうえで、どうすることが正しいことかと自分自身に問いかけることは大切なことだと思います。

次に「協同」。異なる個性を持つ者同士が、心と力を合わせ、助け合い励まし合って問題を解決して一つ一つ乗り越えていくことは、大変価値のあることと教えてくれているものと捉えています。そのことを具現化するものとして、本年度「伝えよう、聞こう、わかろう」とした具体的な行動指標を掲げました。

最後に「礼譲」。ただ単に礼儀だけでなく、“譲る”という言葉に広がりや重さを感じます。人として生きて行くにあたり礼儀・節度・謙虚さを忘れず、相手を敬うようにと諭されているように捉えます。礼儀正しく、謙虚に、和やかに人と接することを心掛けていくことで、前述の「協同」が実現されます。

これからの予測困難で激変する時代を生きて行く子どもたちには、質的な豊かさを伴った人間として成長して、持続可能な社会の担い手として多様な他者と協働して課題を解決していくことが期待されます。大人の務めとして家庭、地域、学校が三位一体となって師となり、“勇気・協同・礼譲”を教え続け、校訓を“身の守り”として具備した人へと大きく飛躍するようご協力をよろしくお願いいたします。

◆県小学校合奏祭～音楽部出場～

本年度、入部希望者数が規定を満たしてことで発足した音楽部が、1月25日（土）に県立劇場で開催される熊本県小学校合奏祭に出場します。演奏曲は、合奏協奏曲作品6の8「クリスマス協奏曲」より（アルカンジェル・コレルリ作曲）です。9：40頃の演奏予定です。入場無料となっていますので、お時間の許す方は足を運んでいただきますと、子どもたちはとても喜ぶと思います。音楽部のみなさん、胸を張って演奏をしっかりと楽しんでくださいね。

◆「健康教育」研究モデル校発表会

本年度、市教委研究モデル校（健康教育）および県学校保健会「健康教育推進校」の委嘱、ならびに県PTA教育振興財団の「健康教育研究推進モデル校」の指定を受け、「心と体の元気づくり」の実践研究に取り組んでいます。2月7日（金）の午後に市内教職員に向けて発表会を開催します。3時間授業後に下校ですが、3年2組と6年2組は、公開授業を行い14：30に下校します。両学級児童の生き生きと学び合う姿に本校研究の成果が映し出されることと期待しています。

保護者の皆様には、あらためてPTAを通して運営補助のご協力を仰ぐこととなります。ご多用な中に恐れ入りますが、お力添えいただきますようお願いいたします。